

科目名		建築法規Ⅰ				
担当教員		広川智子		実務授業の有無	有	
対象学科		建築大工科	対象学年	1 年	開講時期	後期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方		建築を考えるうえで建築基準法の基礎的な内容を理解しておく必要があります。そのために授業では建築基準法などの基礎的な内容（主旨）を中心に解説します。基礎的な内容（主旨）を理解でき、法令集で確認できるようになることを目指します。授業の進め方は、講義→2級建築士の試験問題（法令集で確認）→解説を繰り返します。2～4回の授業毎に評価試験を実施し、理解度を確認します。				
学習目標 （到達目標）		人々の生命・健康などを守るため建築物の最低の基準である建築基準法・建築基準法施行令を中心にした基本的な内容を習得し2級建築士の筆記試験範囲にあたる合格点に達する理解度を目標とします。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①図説やさしい 建築法規 著者：今村仁美・田中美都 発行所：（株）学芸出版社 ②建築関係法令集 発行：（株）総合資格学院、③配布プリント				
NO.				学習方法・準備学習・備考		
1	構造に関する基準 ①居室の天井の高さ、床の高さ ②地階の住宅等の居室、長屋・共同住宅の各戸の界壁 ③階段、階段に代わる傾斜路			達成目標：項目①～③の条件・規制が理解でき計算ができ説明できる 準備学習：教科書①～③の予習		
2	都市計画、道路に関する規定 ①都市計画制度の概要 ②道路の種類、基準等			達成目標：項目①～②の法に関する分類・構成・形式を理解・説明できる 準備学習：教科書①～②の予習		
3	用途地域に関する規定 ①用途地域の目的、建築物の制限			達成目標：項目①の法に関する分類・構成・形式を理解・説明できる 準備学習：教科書①の予習		
4	面積の制限 ①容積率の規制・緩和 ②建蔽率の限度			達成目標：項目①～②の法に関する分類・構成・形式を理解・説明できる 準備学習：教科書①～②の予習		
5	高さの制限 ①道路、隣地境界線に対する高さ ②用途地域による高さ制限			達成目標：項目①～②の法に関する分類・構成・形式を理解・説明できる 準備学習：教科書①～②の予習		
6	設備に関する基準 ①建築設備の概要			達成目標：項目①の法に関する分類・構成・形式を理解・説明できる 準備学習：教科書①の予習		
7	防火に関する基準 ①防火、火災に関する構造・設備の概要 ②延焼のおそれのある部分			達成目標：項目①～②の法に関する分類・構成・形式を理解・説明できる 準備学習：教科書①～②の予習		
8						
9						
10						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
評価試験	取組姿勢			建築基準法・建築基準法施行令を中心にした基本的な内容（主旨）を習得し、2級建築士の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する理解度を目標とします。		
80 %	20 %	%	%	取組姿勢：授業態度、欠席、遅刻など総合的に判断します。		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		設計事務所に勤めて10年以上。				